

教育センター学びの丘長期研修員研修における学びについて

新宮市立三輪崎小学校

教諭 西 田 友 行

「教育センター学びの丘長期研修員の概要について」に示した研修の概要を基に、一年間の学びについての所感を述べる。

修養では様々な研修員研修や研修講座を通して多くの専門的な知識を得るとともに、理解を深めることができた。特に、「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメント」といった学習指導要領改訂におけるキーワード等について学ぶことができ、今後の教育活動に向けて参考になった。また、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修等の経年研修を聴講し、現在の学校を取り巻く環境や自身のキャリア段階を顧みた。若手教員の育成や学校運営参画といった資質・能力が求められていることを強く感じ、ミドルリーダーとしての役割を意識するようになった。

研究では自身の授業実践を省察し、小学校国語科の説明的な文章における単元構想の在り方について模索してその具体化を図った。研究をとおして、児童に付けたい力を明確に把握し、それをもとに具体的な学習活動や評価を考えて単元構想することができるようになった。また、授業で扱った学習内容を他の場面においても児童に活用させることは、国語科はもちろん他教科の授業づくりにおいても大切にしたい。

今後は、この1年間で得た知識と経験を多くの学校や地域に広めるとともに、若手教員の育成や学校運営参画という場面においてミドルリーダーとしての役割を果たしていきたい。また、学び続ける姿勢を忘れず、自身の教員としての資質・能力を高めることに努めたい。